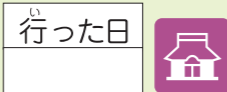


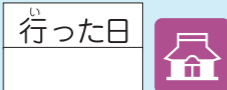
**いしてじんじゃ 石手神社**

うきさきちくどうぶ いしてじんじゃ しこくはちじゅうはち  
宇佐崎地区東部にある石手神社は、四国八十八  
社いしゅん ちくどうぶ たいら いよくに えひめけん まつやま  
霊場の有名なお寺である伊予国(愛媛県)松山  
の石手寺にちなんで名づけられたといわれてい  
ます。まつられていたのはこうれいてんのう きんぼん め  
ます。まつられているのは孝靈天皇の三番目の  
おうじ いよのおうじ じもと いしてじんじゃ  
皇子(伊予皇子)です。地元では、この石手神社  
を「権現さん」とよんで親しんできました。



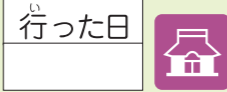
**おおとしじんじゃ 大年神社**

あまつらすおみかみ ぶつ すきのおのこ  
天照大神の弟の素盞鳴尊がまつられており、  
すきのおのこ しらぎ ふね ざいりゅう も かせ  
素盞鳴尊が、新羅から船の材料を持ち帰った  
ことから、植林の神さまといわれています。また、  
つる ごこく たね ぼこ のうきょう  
た、鶴が五穀の種を運んできたことから、農業  
の神さまともいわれています。



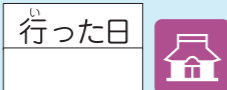
**こねいそう なかむら 固寧倉(中村)**

えどじたい お さいがい ふさく  
江戸時代の終わりごろにつくられた、災害や不作  
に備えて穀物を蓄えておく倉庫です。今は、中村、  
めが びんがね のま せんで のこ  
妻鹿、東山、野里、刀出などに残っています。「固寧  
倉」という名前は中国の『書経』という本のなか  
の「民は惟れ邦の本、本固ければ邦寧し」という  
ことば じやがくし はれいじやうい えら  
言葉から儒学者・林述斎が選んで名づけました。



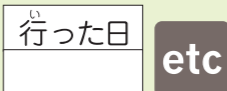
**さくらおと しじんじゃ 桜太刀自神社**

むかし まつばらまにんじゃ にし のちよう  
昔の松原村古西ノ丁にあります。まつられて  
いるのは木花咲耶媛命です。子授け、安産の  
かみ せがし ひろ し しょうわ  
神さまとして昔から広く知られています。昭和  
17、18年ごろまでは灘中学校 体育館の西側  
の山の真ん中あたりにありましたが、今の場所  
に移されました。



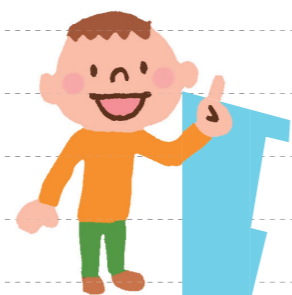
**なかむら しりょうかん 中村史料館**

なかむら こもんじま まつ やうく おにえしき  
中村にはたくさんの古文書、祭り用具、鬼会式  
ようぐ などがあり、これらの保管場所として史  
りょうかん た てっかん づく  
料館が建てられました。鉄筋コンクリート造り  
がいだ がい むら じむしょ がい まつ やうく  
3階建てで1階は村の事務所、2階は祭り用具  
おにえしきようぐ ばしよ がい てんじしやう  
や鬼会式用具をしまう場所、3階は展示場と  
なっています。



しら はま ち く  
**44 白浜地区**

しら 調べたこと、  
わ 分かったことを  
か 書いてみよう!



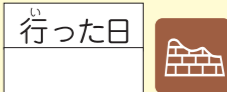
まつばらまにんじゃ おこな なだ  
松原八幡神社で行われる「灘  
のけんか祭り」は全国的に有名  
です。その他にも白浜地区に  
は神社やお地蔵さまなど古く  
からのものがたくさん残ってい  
ます。どんなものがあるのか調  
べてみましょう。



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 伝承行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

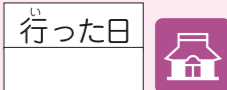
**にしじぞうどう 西地藏堂**

むかし まつばらおおにし のちよう にし はし きんきろ みやかど  
昔の松原村大西ノ丁の西の端、三叉路の南角  
にあります。地区内に地藏堂があるので講の  
なまえ じぞうどう しょうこう  
名前を地藏講といいます。1月23日は初地蔵  
が、8月23日は地蔵盆が行われます。昭和30  
年ごろは夜店が並び、踊りなどが行われてに  
ぎやかでした。



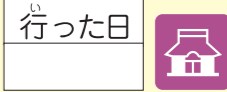
**ひるこじんじゃ 蛭子神社**

きばこう せいがん やま うえ じんじゃ  
木場港の西岸にある山の上にある神社で、  
えひすじんじゃ てんひつぼうじ  
恵美酒神社ともいいます。天平宝字7年(763)  
にできたといわれています。戦争が終わり、  
しゃでん あは しょうざきひと  
社殿が荒れ果てましたが、宇佐崎の人々の  
ながん どうく み むす しょうわ  
長年の努力が実を結び、昭和59年(1984)に  
りっ ぼ しゃでん かんせい  
立派な社殿が完成しました。



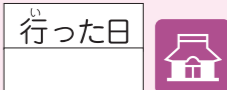
**まつばらさんはつしょうじ 松原山八正寺**

むかし まつばらまにんじゃのちやう じんき がんねん  
昔の松原村東ノ丁にあります。神亀元年(724)、  
ぎょうき ぼう  
行基というお坊さんによってつくられました。  
いま ぼうしょうじ しんごんじやう てら  
今の八正寺は真言宗のお寺ですが、明治維新  
ちくご しんぶんふんり まつばらまにんじゃ しょうりやう  
直後の神仏分離までは、松原八幡宮や社領の  
いじ かんり さいれいじやうじ いちばんじやうやう しごと  
維持管理と祭礼行事が一番重要な仕事でし  
た。



**まつばらまにんくう おたびやま 松原八幡宮(御旅山)**

めが す くつり りやうし まつばらまにんくう  
妻鹿に住んでいた久津理という漁師が松原八  
幡宮の御神体となる霊木を海の中で見つけ、  
まつばら しゃでん せいんたい  
松原の社殿ができるまで御神体をおいていた仮  
の場所です。その後、御旅山のふもと元宮八  
幡神社に移されましたが、元禄7年(1694)に今  
の場所に社殿を建て直したといわれています。



**まつばらまにんじんじゃ しょうきれいたいさい 松原八幡神社・秋季例大祭 (灘のけんか祭り)**

むかし まつばらまにんくうのちやう ほんた わけのみこ  
昔の松原村東ノ丁にあります。品陀和気命  
おうしんてんのう おきなならしひのめいこ じんくうこうこう ひめ おおかみ  
(應神天皇)・息長足姫命(神功皇后)・比咩大神  
の三つの神さまがまつられています。毎年10  
月14・15日に行われる秋のお祭りは「灘のけ  
んか祭り」ともよばれていて、七つの村が  
ごう ちやたい ね まつ しょうづま  
豪華な屋台を練り競う力強いお祭りです。

